

江雪こうせつ（柳宗元りゅうそうげん）

千山鳥飛絶 萬徑人蹤滅
孤舟蓑笠翁 獨釣寒江雪

千山せんざん 鳥とり 飛ぶことと 絶えたえ

万径ばんけい 人蹤じんしよう 滅すめつ

語釈 ※江雪Ⅱ川の雪。※千山Ⅱ多くの山。※鳥飛絶Ⅱ飛ぶ鳥の姿が全くない。※万径Ⅱ多くのこみち。※人蹤Ⅱ人の足跡。
※孤舟Ⅱ一そのの舟。※蓑笠Ⅱ蓑とかぶり笠。※寒江Ⅱ寒々とした冬の川。

孤舟こしゆう 蓑笠さりゆとう の 翁おう

通釈 多くの山々に飛ぶ鳥の姿もなく、道という道は雪にうずも

ひとりひと 釣るつ 寒江かんこう の 雪ゆき

れて人の足跡も無くなってしまった。雪に閉ざされた中に、一その小舟を浮かべて、蓑と笠をつけた老人が寒々とした川で釣り糸をたれている。